

静岡県ふじのくに NPO 活動助成事業

「中高年がいきいきと活動するまちづくり」
に関するニーズ調査報告書

—— 内野台・染地台地域（浜松市浜北区・他） ——



平成 24 年 3 月

特定非営利活動法人 ネットわあくアミダス

第1章 調査の実施概要

1. 目的
1)地域での日常生活支援への協力可能性の把握
2)高齢者世帯にとっての生活上の困難・不安の把握
2. 対象地域
内野台団地および染地台団地（浜松市浜北区）
*内野台団地は、浜名ニュータウンとして開発され1975年頃より分譲・入居が始まった。染地台団地は、きらりタウン浜北としてUR都市機構により開発され2004年より分譲・入居が始まった。
3. 回答者
中高年者並びに生活時間に余裕があると思われる方
4. 調査方法
アンケート調査
自治会の資料配付ルートを通じてのアンケート票の配布・回収
*目的1)について[調査票A]、目的2)について[調査票B]を作成し、内野台団地については調査票A及びBを用い（ただしBは高齢者世帯対象＝「高齢者のひとり暮らし」及び「高齢者世帯の方」）、染地台団地については調査票Aのみを用いて調査を行った。
5. 調査期間
平成23年12月
6. 配布・回収

	(配布)	(回収)	(回収率)
内野台団地	1,449	1,191	82.1%
染地台団地	1,500	368	24.5%
その他	80	26	32.5%
合計	3,029	1,685	52.3%

*内野台団地は高齢者世帯が多く、一方染地台団地は若年層世帯が多いため、上述のように回答者を依頼したことから、染地台団地における回答率が低くなったものと思われる。
*上述の配布・回収数は[調査票A]のものである。[調査票B]については内野台団地において417の回答を得た（回答表の35.0%）。
7. 集計方法
調査項目に対する単純集計についてのみを行った。
8. 実施体制
実施主体 NPO法人ねっとわあくアミダス
協力機関 内野台団地自治会
染地台団地自治会
静岡文化芸術大学地域デザイン研究室（黒田研究室）
総合福祉施設きじの里（染地台団地内）
地域包括支援センター浜北南部
地域包括支援センター浜北北部

第2章 地域での日常生活支援への協力可能性（内野台＋染地台）

1. 地域の特性（回答者の概要）

- ・調査票には世帯主ないしその配偶者が回答したものと想定するが、回答者全体では30歳代が32.9%、40歳代が19.8%、50～60歳代が34.3%、70～80歳代が9.2%であった。8割近くが配偶者と同居、4割近くが未婚の子供と同居と回答し、約12%が既婚の子供と同居（2世代世帯と思われる）、ひとり暮らしは7.6%であった。

- ・ただし、地区により特性はかなり異なるところがある。

（染地台）20～40歳代が84.7%で、なかでも30歳代が53.9%を占める。一方、50歳代以上は15.3%であった。同居については8割が配偶者、5割が未婚の子供、14%が既婚の子供と回答し、ひとり暮らしは2%であった。現状では30歳代の夫婦に子供という家族構成が中心と思われる。

（内野台）50～60歳代が54.3%で、30～40歳代が31.0%、70～80歳代が13.7%を占める。また、世帯の約1/3が高齢者世帯であると考えられる。同居については5割が配偶者、22%が未婚の子供、8%が既婚の子供と回答し、ひとり暮らしは6.5%であった。染地台との比較では、総じて年齢層が高く、50～60歳代の夫婦を核として世帯が中心であり、70～80歳代の高齢者世帯も回答以上に多いものと推察される。（内野台では半数の方が年齢に未回答であった。）また、未婚の子供との同居に関しても、高齢者＋子供（成人）の組み合わせも少なくないと察せられる。

■表A1:あなたの現在の年齢を教えてください。(Ⅲ-②)

	内野台	%	染地台	%	その他	%	合計	%
1.20歳代	4	0.8	27	6.7	3	5.8	34	3.6
2.30歳代	72	14.8	219	53.9	20	38.5	311	32.9
3.40歳代	79	16.2	98	24.1	10	19.2	187	19.8
4.50～60歳代	265	54.3	52	12.8	8	15.4	325	34.4
5.70～80歳代	67	13.7	10	2.5	10	19.2	87	9.2
6.90歳以上	1	0.2	0	0.0	1	1.9	2	0.2
計	488	100.0	406	100.0	52	100.0	946	100.0

■表A2:あなたは現在どなたと住んでおられますか。(当てはまるものいくつか) (Ⅲ-③)

	内野台	%	染地台	%	その他	%	合計	%
1.配偶者	621	52.1	301	81.8	10	38.5	932	77.9
2.既婚の子供	94	7.9	51	13.9	4	15.4	149	12.4
3.既婚の子供の配偶者	35	2.9	11	3.0	1	3.8	47	3.9
4.未婚の子供	268	22.5	188	51.1	1	3.8	457	38.2
5.孫	50	4.2	8	2.2	3	11.5	61	5.1
6.本人ないし配偶者の親	52	4.4	15	4.1	1	3.8	68	5.7
7.兄弟姉妹	7	0.6	1	0.3	0	0.0	8	0.7
8.本人のみ	78	6.5	7	1.9	6	23.1	91	7.6
9.その他	6	0.5	0	0.0	1	3.8	7	0.6

(注) %は回答者(内野台 1,191、染地台 368、その他 26、合計 1,685)に対する比率。

2. 現在の日常生活について

(1) 自由になる時間について

(内野台) 半数近くはかなり自由との回答である(「毎日が自由」26.3%、「週2～3日は自由」22.7%)。他に「週1～2日は自由」が24.8%、自由になる時間は少ないが約25%である(「月に1～2日」9.7%、「少ない」12.4%、「殆どない」4.0%)。現役を退いた元気な高齢者が多く居住することによると思われる。地域生活支援参加への潜在的可能性が見込まれる。

(染地台) 半数近くが自由になる時間はかなり少ないと回答している(「月に1～2日」「少ない」「殆どない」)。「週1～2日は自由」が27.7%、かなり自由は22.8%である(「毎日が自由」「週2～3日は自由」)。現役世代が中心であり、高齢者世代が少ないことの現れと思われる。生活支援参加には予め日時調整をするようなことも考慮すべきところである。

■表A3:あなたの自由になる時間は、月にどれくらいありますか。(いずれか一つ)(I-①)

	内野台	%	染地台	%	その他	%	合計	%
1.毎日	210	26.3	26	8.6	9	32.1	245	21.7
2.週2～3日	181	22.7	43	14.2	11	39.3	235	20.8
3.週1～2日	198	24.8	84	27.7	1	3.6	283	25.1
4.月に1～2日	77	9.7	42	13.9	3	10.7	122	10.8
5.少ない	99	12.4	71	23.4	4	14.3	174	15.4
6.殆どない	32	4.0	37	12.2	0	0.0	69	6.1
計	797	100.0	303	100.0	28	100.0	1128	100.0

(2) 日常生活で不安に思っていることについて

- ・全体では、1位：家族の健康(42.3%)、2位：自分の健康(37.3%)、3位：自然災害(30.1%)、4位：収入(23.8%)、5位：犯罪(14.1%)が上位である。家事(3.4%)、生きがい(4.2%)は少数であった。なお、現状では家事への不安は少数であり、市民相互の助け合いで支えられる規模と思われる。
- ・ただし、地区別では少し様子が異なる。

(内野台) 家族の健康(41.4%)、自分の健康(39.3%)が同程度で1位、2位を占める。

(染地台) 1位：家族の健康(56.8%)、2位：自然災害(39.9%)、3位：自分の健康(39.1%)で、犯罪(25.2%)の回答も多い。

■表A:現在、日常生活において不安に思っていることは何ですか。(いくつでも)(I-②)

	内野台	%	染地台	%	その他	%	合計	%
1.収入	269	22.6	125	34.0	7	26.9	401	23.8
2.自分の健康・病気	468	39.3	144	39.1	16	61.5	628	37.3
3.家族の健康・病気	493	41.4	209	56.8	10	38.5	712	42.3
4.生きがい	46	3.9	22	6.0	3	11.5	71	4.2
5.就労	65	5.5	43	11.7	1	3.8	109	6.5
6.自然災害	353	29.6	147	39.9	7	26.9	507	30.1
7.犯罪	141	11.8	94	25.5	2	7.7	237	14.1
8.家事	44	3.7	12	3.3	1	3.8	57	3.4
9.その他	43	3.6	17	4.6	0	0.0	60	3.6

(注) %は回答者(内野台 1,191、染地台 368、その他 26、合計 1,685)に対する比率。

(3) 日常生活で生きがいを持ってやっていること

- ・全体では、1位：家族の団欒（31.5%）、2位：友人との交流（29.2%）で、以下、趣味のサークル活動（17.0%）、就労（15.7%）と続いている。

- ・地区別では少し様子が異なるところである。

（内野台）1位：友人との交流（29.6%）、2位：家族の団欒（26.6%）、3位：趣味のサークル（19.6%）が上位を占め、「就労」（14.3%）は染地台ほど高くない。

（染地台）1位：家族の団欒（58.2%）、2位：友人との交流（35.1%）、3位：就労（25.5%）で、「趣味のサークル」（11.7%）は内野台ほど高くない。

現役世代の多い染地台では「家族の団欒」が突出するが、高齢世代の多い内野台では「家族の団欒」に加え「友人との交流」「趣味のサークル」を重視する傾向にある。独居含め高齢者世帯が多いことから、地域・近隣に話し相手を求める結果と思われる。

- ・「近所の交流」「ボランティア活動」「自分の知識・技術を生かした活動」は内野台がやや高く、同地区では多様な形態での交流や社会参加へのニーズも少なくない。

■表A5:現在、日常生活で生きがいを持ってやっている事は何ですか。(いくつでも)

	内野台	%	染地台	%	その他	%	合計	%
1.近所との交流	132	11.1	45	12.2	7	26.9	184	10.9
2.友人との交流	352	29.6	129	35.1	11	42.3	492	29.2
3.就労	170	14.3	94	25.5	1	3.8	265	15.7
4.趣味サークル活動	233	19.6	43	11.7	10	38.5	286	17.0
5.地域行事、自治会活動	24	2.0	8	2.2	2	7.7	34	2.0
6.ボランティア活動	63	5.3	9	2.4	3	11.5	75	4.5
7.学習活動	47	3.9	12	3.3	4	15.4	63	3.7
8.若い世代との交流	24	2.0	5	1.4	0	0.0	29	1.7
9.知識や技術を活かした活動	76	6.4	19	5.2	2	7.7	97	5.8
10 高齢者との交流	46	3.9	7	1.9	3	11.5	56	3.3
11 障害者との交流	4	0.3	9	2.4	0	0.0	13	0.8
12 家族の団欒	317	26.6	214	58.2	0	0.0	531	31.5
13 その他	80	6.7	40	10.9	0	0.0	120	7.1

(注) %は回答者(内野台 1,191、染地台 368、その他 26、合計 1,685)に対する比率。

(4) 家族の一員として得意と思える分野

- ・全体では、1位：車の運転（25.4%）、2位：買い物（20.1%）、3位：洗濯（19.9%）で、以下、掃除（18.5%）、調理（17.9%）、庭の草取り（16.4%）、台所の片付け（16.3%）、部屋の片付け（14.4%）などが続く。
- ・地区別では、内野台で台所の片付け（19.0%）（染地台では 11.7%）、染地台のパソコン（20.7%）（内野台では 10.9%）がやや特徴的である。
- ・染地台地区では、現役世代が多いせいか、日常の家事に関連する「車の運転」「買い物」「洗濯」「掃除」への回答率が、内野台地区を 10 ポイント程度上回っている。

■表A6:家族の一員として、あなたが得意と思える分野は何ですか。(いくつでも)

	内野台	%	染地台	%	その他	%	合計	%
1.畑仕事	77	6.5	13	3.5	4	15.4	94	5.6
2.庭の草取り	193	16.2	72	19.6	12	46.2	277	16.4
3.台所の片付け	226	19.0	43	11.7	6	23.1	275	16.3
4.窓拭き	54	4.5	17	4.6	1	3.8	72	4.3
5.掃除	209	17.5	99	26.9	4	15.4	312	18.5
6.車の運転	294	24.7	125	34.0	9	34.6	428	25.4
7.買い物	232	19.5	100	27.2	7	26.9	339	20.1
8.買物付添	74	6.2	27	7.3	2	7.7	103	6.1
9.洗濯	225	18.9	103	28.0	7	26.9	335	19.9
10 衣類の整理	111	9.3	46	12.5	3	11.5	160	9.5
11 パソコン	130	10.9	76	20.7	3	11.5	209	12.4
12 調理	214	18.0	85	23.1	3	11.5	302	17.9
13 接客	70	5.9	24	6.5	1	3.8	95	5.6
14 部屋の片付け	164	13.8	76	20.7	2	7.7	242	14.4
15 屋外の片付け	98	8.2	27	7.3	3	11.5	128	7.6
16 大物の整理・片付け	90	7.6	37	10.1	0	0.0	127	7.5
17 その他	43	3.6	17	4.6	0	0.0	60	3.6

(注) %は回答者(内野台 1,191、染地台 368、その他 26、合計 1,685)に対する比率。

(5) 近所の方との付き合い状況

- ・全体で、「あいさつを交わす程度」が 55%程度で、「困ったときに相談できる人がいる」が 25%程度、「常に訪問しあう人がいる」が 15%程度である。地区による差はほとんど見られない。
- ・「付き合いがない」は少数であり（内野台 2.2%、染地台 3.2%）、近隣とのやりとりはけっこう盛んな地区であると思われる。

■表A7:現在、近所の方との付き合い状況についてお聞きます。(いずれか一つ)

	内野台	%	染地台	%	その他	%	合計	%
1.常に訪問し合う人がいる	129	15.6	51	14.8	8	30.8	188	15.7
2.気軽に相談できる人がいる	209	25.3	88	25.6	9	34.6	306	25.6
3.あいさつを交わす程度	464	56.1	192	55.8	6	23.1	662	55.3
4.付き合いがない	18	2.2	11	3.2	1	3.8	30	2.5
5.その他	7	0.8	2	0.6	2	7.7	11	0.9
計	827	100.0	344	100.0	26	100.0	1197	100.0

3. 地域での生活支援の協力や社会参加

(1) あなたが望む社会参加

- ・全体では、「3. 誰かが始めたら、見て良さそうなら、参加したい」が 55%、「5. 趣味の仲間に出会えるなら生活支援に参加できる」が 13%である。地区別では、「3.」は、染地台では7割、内野台では5割である。両地区とも、何かきっかけがあれば、居住者の社会参加の促進されるものと察せられる。染地台の方が、日常自由になる時間が少ない方の比率が高いが、うまいきっかけがあれば参加したいとの積極性も高いものがある。
- ・自己実現関連は、内野台の方でやや高めである。「現役時代に身に付けたもの」「自分のために」「趣味の仲間」)
- ・なお、「現役時代の知識・技術」では、看護、保育、介護、書道をあげた方がいた。「自分のために」では、健康管理、運動・体操が複数あげられた。また、「趣味の仲間」では、音楽関係（楽器、コーラス、カラオケ等）9件、スポーツ関係 11 件程度、ダンス3件などがあげられた。
- ・この質問への回答率は、内野台が 48%、染地台が 73%であり、若い世代の多い染地台の方が社会参加への積極性が感じられる。

■表A8:あなたはどのような社会参加を望みますか。関心ある数字に○をつけ()にご記入下さい。

1. 現役時代に身に付けた()を活かして、()をやってみたい。
2. 日常生活支援も良いが、もっと楽しめる目新しい別の企画が欲しい。あなたならそれは何?()
3. 誰かがやり始めたら、それを見てから良さそうなら、それに参加したい。
4. 誰かのためでなく、自分のために()等が出来るなら喜んで参加したい。
5. 同じ趣味の仲間と出会えるなら、日常生活支援にも参加できる。その趣味は()
6. その他()

	内野台	%	染地台	%	その他	%	合計	%
1.現役時代のノウハウを活かす	46	8.0	15	5.6	0	0.0	61	7.1
2.楽しめる企画に参加したい	31	5.4	11	4.1	2	9.1	44	5.1
3.誰かが始めたら参加したい	284	49.7	186	69.1	10	45.5	480	55.6
4.自分のために参加したい	37	6.5	9	3.3	3	13.6	49	5.7
5.趣味の仲間と出会えるなら	92	16.1	19	7.1	5	22.7	116	13.4
6.その他	82	14.3	29	10.8	2	9.1	113	13.1
計	572	100.0	269	100.0	22	100.0	863	100.0

(2) 実施する上で希望すること

- ・全体では、「複数の仲間と一緒に行動」39.0%、「伝言板等で困っている事例がわかれば選んで協力」35.6%、「一人で行動する」20.5%である。
- ・地区別では、染地台では1位：「伝言板等」44.8%、2位：「複数の仲間」39.4%が多い一方、内野台では1位：「複数の仲間」38.0%、2位：「伝言板等」32.3%であり、地区によりやや性格を異にするところである。
- ・染地台では、日常自由時間の少ない方が多いが、伝言板等の仕組みが整えば、都合をみて参加する方が少なくないようである。また、両地区とも、複数の仲間での活動への希望が多いようだが、内野台では自分のペースでの行動への希望も少なくないようである。

■表A9:実施する上で、あなたの希望することについてお伺いします。

1. 1人でやれることならば、できるだけ1人で行動することを希望する。
2. 複数の仲間と一緒に行動する活動が、自分には向いていると思う。
3. 伝言板等で困っている事例がわかれば、その中から自分で選んで自分に合う協力をしてみたい。
4. その他()

	内野台	%	染地台	%	その他	%	合計	%
1.1人で行動	164	24.4	34	11.4	5	21.7	203	20.5
2.仲間と一緒に	255	38.0	117	39.4	14	60.9	386	39.0
3.伝言板等で選択	217	32.3	133	44.8	3	13.0	353	35.6
4.その他	35	5.2	13	4.4	1	4.3	49	4.9
計	671	100.0	297	100.0	23	100.0	991	100.0

4. 高齢社会の問題点や意見

- ・「高齢社会の問題点についてやご意見など、平素からお考えのことをご記入下さい」に対する自由回答は、内野台からは109件、染地台からは79件の回答記述をいただいた。
- ・キーワードから回答記述の概略を整理すると次のようになる。
 - (内野台) 主なものは、「交流」24件、「買い物」12件、「一人暮らし」10件、「仕事」8件、「移動(車、徒歩等)」8件、「年金」5件、「自治会」4件、「生きがい」3件であった。
 - (染地台) 主なものは、「年金」22件、「交流」17件、「仕事」8件、「一人暮らし」6件などであった。

*内野台居住者の回答記述について

- ・内野台で最も多い「交流」では、近所との交流、高齢者同士の交流、世代間の交流や、語らいの場や話し相手を求める声である。「一人暮らし」では、将来の一人暮らしへの不安や一人暮らし高齢者との交流や生活支援に関する内容である。これらから、一人暮らし高齢者の増加に伴う様々な交流や支援をめぐっての意見や要望(課題提起)が多いことがわかる。
- ・「仕事」に関しては、生計を得るための仕事というよりも、高齢者の社会参加や生きがいにつながるような仕事に関する記述が目立つ。前項の内容を支えるようになる活動への参加のシーズとなるものと考えられる。
- ・「買い物」に関しては、近隣にスーパーなどがなく不便であること、また「移動」では交通安全、歩きやすい街づくりのほか、買い物や外出への足の確保の問題を指摘する声も少なくない。
- ・地域の高齢化に伴い、自治会活動への負担への懸念の声も散見されたところである。

*染地台居住者の回答記述について

- ・染地台では、「年金」関連の記述が目立ったが、多くは将来の年金受給への不安であり、30歳代を中心とした比較的若年世代が多いことが背景にあるものと思われる。また、「仕事」に関連しては、社会参加というよりも、年金不安と表裏をなすような内容でもあり、将来の定年延長を視野に入れたような意見が多い。
- ・「交流」では、孤独な高齢者をつくらぬような交流機会や交流環境づくりに向けての積極性を感じるような記述が多かった。一方で「一人暮らし」についても、独居高齢者を懸念するような記述が目立ち、これらから一人暮らし高齢者の増加に対応した地域交流の推進への意識の広がりを感じられる。現状、染地台では独居老人など高齢者世帯は少ないが、年金問題も含め自らが高齢者となる近未来への対応(地域での助け合いなど)を指向する傾向が窺える。

第3章 中高年世帯の不便と不安（内野台）

1. 日常の健康状態と介護保険

- ・現在の健康状態については、回答者の8割が問題ないと答えている（「とても良い」5.0%、「良い」21.8%、「普通」54.9%）。問題ありとの回答は18.2%である（「あまり良くない」14.6%、「良くない」3.6%）。
- ・今回のアンケート調査より、内野台の35%は高齢者世帯であり、大半は「元気な高齢者」であると考えられる。

■表B1:現在の健康状態(いずれか一つ)

	回答項目	内野台	%
1	とても良い	21	5.0
2	良い	91	21.8
3	普通	229	54.9
4	あまり良くない	61	14.6
5	良くない	15	3.6
	計	417	100.0

- ・回答者の9割が介護保険を「知っている」と答えており、介護保険の認知度は高い。「利用している」は19.1%であり、前項で健康に問題ありの回答者18.2%におおむね対応する回答率である。何らか健康に問題があるような高齢居住者は、すでに介護保険を利用している可能性が高い。
- ・なお、4.4%（15名）が「知らないので知りたい」との回答を寄せている。

■表B2:介護保険制度をご存知ですか

	回答項目	内野台	%
1	知っている(利用している)	70	19.1
2	知っている(利用していない)	261	71.1
3	知らないので知りたい	16	4.4
4	健康なので知る必要はない	20	5.4
	計	367	100.0

2. 高齢者世帯の生きがいと不安

- ・現在の生きがいについての回答では、1位「旅行」43.2%、2位「趣味」28.8%、3位「家事」25.4%であり、以下「孫やひ孫の成長」23.7%、「仕事」15.3%、「畑仕事」15.3%、「身内との交流」12.9%が続いている。旅行、趣味、家事が上位であり、多くが元気な高齢者であることが窺える。
- ・高齢者世帯における日常生活での不安では、1位「自分の健康や病気」65.5%、2位「家族の健康や病気」54.9%、3位「自然災害」36.0%であり、以下「収入」27.8%、「犯罪」12.9%が続いている。
- ・若年世帯等を含めての回答と比較して、自分や家族の健康・病気に対する不安は高くなっている。
- ・高齢者世帯における心配事や悩みの相談相手は、1位「家族・親族」78.4%、2位「友人」31.9%、3位「近所の人」10.3%であり、「ケアマネージャー」3.1%、「ヘルパー」2.9%、「民生委員」2.4%などは少数である。なお、「相談する相手がいない」は1.7%（7名）であった。

■表B4:現在の生きがい

	回答項目	内野台	%
1	仕事	64	15.3
2	サイドビジネス	6	1.4
3	畑仕事	64	15.3
4	家事	106	25.4
5	孫やひ孫の成長	99	23.7
6	旅行(海外・国内・その他)	180	43.2
7	趣味	120	28.8
8	身内との交流	54	12.9
9	その他	3	0.7
	計	696	166.9

(注)%は回答数 417 に対する比率

■表B3:日常生活で不安に思っていること

	回答項目	内野台	%
1	収入	116	27.8
2	自分の健康や病気	273	65.5
3	家族の健康や病気	229	54.9
4	生きがい	16	3.8
5	就労	10	2.4
6	自然災害	150	36.0
7	犯罪	54	12.9
8	その他	13	3.1
	計	861	206.5

(注)%は回答数 417 に対する比率

■表B2:日常生活の心配事や悩みの相談相手

	回答項目	内野台	%
1	家族・親族	327	78.4
2	友人	133	31.9
3	近所の人	43	10.3
4	職場の同僚・上司	12	2.9
5	行政機関の窓口	11	2.6
6	民生委員	10	2.4
7	ケアマネージャー	13	3.1
8	ヘルパー	12	2.9
9	相談する相手がいない	7	1.7
10	その他	3	0.7
	計	571	136.9

(注)%は回答数 417 に対する比率

3. 高齢者世帯の不便と対応

- ・日常生活で困っていること、今後困りそうなことについての回答は、1位「病院の送迎」26.9%、2位「食事作り」25.2%、3位「買い物」18.2%であり、以下「庭の草取り」15.6%、「部屋の掃除」13.9%、「地域との交流（会合や草取り）」9.8%が続いている。自らの健康悪化・病気対策のための生活行動支援（病院の送迎）を指摘する声が最も多く、それに伴う必需家事（食事作り、買い物）が次ぐ結果となっている。
- ・不便を感じているときには、「家族にやってもらっている」58.5%、「自分で何とかしている」48.7%が大半であると思われ、「介護保険サービスの利用」2.6%や「自費でヘルパー」0.5%は現状では少数である。

■表B6: 日常生活で困っていること、今後困りそうなことは？

	回答項目	内野台	%
1	食事作り	105	25.2
2	部屋の掃除(窓拭き含む)	58	13.9
3	病院の送迎	112	26.9
4	庭の草取り	65	15.6
5	買物	76	18.2
6	相談相手	24	5.8
7	地域との交流(会合や草取り)	41	9.8
8	洗濯	24	5.8
9	その他	41	9.8
	計	546	130.9

(注)%は回答数 417 に対する比率

■表B5: 日常生活で不便を感じて手助けして欲しいとき

	回答項目	内野台	%
1	自分で何とかしている	203	48.7
2	家族にやってもらえる	244	58.5
3	誰かに手伝ってもらいたい事がある	14	3.4
4	介護保険サービスで間に合っている	11	2.6
5	自費でヘルパーさんを頼んでいる	2	0.5
6	その他	26	6.2
	計	500	119.9

(注)%は回答数 417 に対する比率

第4章 中高年が元気に活躍するまちづくりへの課題

前述のアンケート調査結果を踏まえ、染地台団地内の総合福祉施設きじの里の「オープンカフェきじの杜」を活用して、次のような活動の展開が考えられる。

① 助け合い『伝言板』の設置

カフェに助け合い『伝言板』を設置して、居住者相互の困っている要件の伝達の手伝いをする。掲載内容は、病院の送り迎え、買い物、調理、草取りなどが考えられる。これにより手助けを希望する方と協力できる方との間をつないでいけたらと考えている。なお、伝言板への掲載については無料としたいが、助け合いの活動につながった場合の活動費は有料を考えている。

② 講座や集いの開催

「オープンカフェきじの杜」の場所を活用して、地域機能の活性化に向けての様々な講座や集いの開催を行う。住民の方の様々な要望を受けて企画・運営を行えるボランティア中心の仕組みづくりを進めていく。一例として以下のようなプログラムが考えられる。

- (例)
- ・毎週月曜日の健康体操のグループ（転ばないための長生き健康体操）
 - ・手芸、編み物、詩吟、園芸、絵画などの趣味の集い
 - ・男性専科のカフェ（曜日を設定して、或るいは夜間の開催が考えられる）
 - ・年配者の集い（自力で集まれる場合、送迎が必要な場合で支援体制が異なる）

③ 食事機会の提供

カフェにおいて昼食の提供を行う。実施曜日については今後の検討とするが、決められた曜日で予め約束をした方への昼食の提供を検討する。一例として回覧板でお知らせをして、希望があった方に提供をする方法が考えられる。カフェに来訪しての食事の場合と、或いはご自宅へのお届け希望の場合にはガソリン代などの付加料金も検討課題である。（カフェでお召上がりの場合は価格 500 円程度、要配達 550 円程度を想定して検討中）

④ 買い物の送迎

現在、内野台では遠鉄ストアへの送迎バスが月・水・金の 10 時～12 時、乗り場 3 カ所で 30 分毎に運行されている（1 日 3 往復）。現在の送迎バスとは違ったルートが必要がある場合には、将来的に、他のショッピングセンターなどへの送迎も考えられる。遠鉄ストアは食品中心であり、衣類や日用雑貨の取り扱い店舗への送迎も検討課題である。

⑤ 病院等への送迎及び付き添い

内野台地域では高齢化は進んでいるが、元気な中高年の在住者が比較的多いと思われる。しかし、他地域では困難を抱えている「高齢の方」が居られるため、協力可能な方には団地内外を問わず、何らかの形で協力体験を経験することで、今後の地域対応が考えられる。

⑥ 地域連携事業の推進

医療、介護、福祉、日常生活支援などの様々な分野が連携を持てれば、それぞれの垣根が薄れて、風通しの良い関係になる。連携により情報を共有することで、要介護者の生活は途切れることなく伝達され情報が共有されているので、日常生活の快適さが増すと考えられる。

「中高年がいきいきと活動するまちづくり」 に関するニーズ調査報告書

<発行元>

特定非営利活動法人 ねっとわあくアマダス
〒435-0048 浜松市東区上西町 1270 (友愛会館内)
電話&FAX:053-464-8150
Email:min9@giga.ocn.ne.jp



協力機関 内野台自治会
染地台自治会
静岡文化芸術大学地域デザイン研究室(黒田研究室)
総合福祉施設きじの里(染地台団地内)
地域包括支援センター浜北南部
地域包括支援センター浜北北部